



私たちを取り巻く 現状と課題

これに立ち向かう活動を



令和4年5月28日

柏市風早北部地域ふるさと協議会
防犯防災部編



始めに…ここ沼南地域は異なる背景の住民で構成

- 農家を中心とした旧くからの居住者
- 集合住宅居住者（この割合が他地域より多い）
- この地に他所から引っ越してきた新たな居住者



住民の防災に対する意識の差＝地域活動に温度差

- 背後に潜む人間の性(サガ)
「正(平)常性のバイアス」



いざという時の避難所収容力不足は深刻

- 地域内の指定避難所である七つの学校は二松学舎大学柏キャンパス以外は収容力が想定される避難者数には到底足りません
- 避難可能な施設は各学校校庭と体育館や講堂に限定
- その避難所を誰が運営していくかをお分かりですか？
- その他に市の管理地である公園など（一時避難場所）
- 避難場所となる建物所有の地域団体は限定的な中、大型商業施設以外では寺社・民間施設の有効活用を
- 在宅避難が難しい場合は車両避難・テント生活も有効
↑ ペット同居避難も解消

風早北部地域は大島田交差点で四分割に

- 国道16号線と県道船橋取手線（手賀大橋を含む）が緊急車両優先道路となり、一般車両の通行が制限
- SOSをどうやって地域災害対策本部に伝えますか？
 - ☞ 一般の電話回線は通話やメールが困難な中、安否確認作業においてはSNS・公衆電話・無線機の使用が推奨されます
- この地域から医師や看護師が最悪いなくなる？
 - ☞ 総合病院がない中、非常時には医療関係者がこうした大規模病院に招集されます：手賀大橋は通行不可

課題解決のためには

- 事前の準備に向けた住民教宣をSDGsで
 - 👉 毎月一回はニュースを発行します→HPへの掲載で案内します。ニュース紙面を住民配布願います
- 防災訓練を地域で実施しましょう＝行動に移そう
 - 👉 コロナ感染症下でも出来る活動（例：シェイクアウト訓練や安否確認訓練、役員や班長限定の訓練や学習・講習の機会を）
- 行政へのアプローチも重要です
 - 👉 毎年当会防犯防災部が実施する柏市行政への要望事項提出にあなたの団体も参加しませんか？

今期の事業計画について

- 毎月第4土曜日午前中は「防災意見交換会」を開催
- 発災時に即した安否確認を実施しましょう（5－6月）
- 災害時の避難行動を学んでみませんか？（8 or 9月）
- 今年は一斉防災訓練実施を目指します（11月）
- 学校避難所運営の在り方を協議します（6月～）
- 災害時に怪我をしないための活動を強化します（通年）
- 上記諸活動を通じた柏市行政への要望事項の提出及び市担当課との協議実施（12月～）
- 年度末には「防犯関連」講習の機会も3年ぶりに実施
- 5月29日講演会を予定（6月4日のWラリー一再延期）